

令和4年度 岩手県立産業技術短期大学校
一般入学試験（第Ⅱ期）問題

数 学

（ 注 意 ）

- 1 開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子の問題は、1ページから3ページまであります。
- 3 解答用紙は、問題冊子とは別に用意されています。
- 4 問題冊子及び解答用紙に不備がある場合には、直ちに監督員に申し出て
ください。
- 5 解答用紙には、**受験科名、受験番号及び氏名**を正しく記入してください。
- 6 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 7 問題冊子は、持ち帰ってください。

数 学 問 題

(注意) 解答は、すべて解答用紙に記入せよ。

1 次の(1)~(10)の問いに答えよ。

(1) $(x-2)(x^2+4)(x+2)$ を展開せよ。

(2) $6a^2+13a+6$ を因数分解せよ。

(3) 2次関数 $y=-x^2+kx+7$ は、 $x=3$ のとき最大値をとる。
このとき、 k の値、およびこの関数の最大値を求めよ。

(4) $AB=5$, $BC=7$, $CA=3$ の三角形 ABC において、 $\angle BAC$ の大きさ、および三角形 ABC の面積を求めよ。

(5) 次の15個のデータの中央値、および四分位偏差を求めよ。

25, 32, 20, 16, 40, 28, 26, 21, 19, 38, 38, 27, 21, 18, 36

(6) $(2+i)x+(1-2i)y=7-4i$ を満たす実数 x, y の値を求めよ。ただし i は虚数単位である。

(7) 円 $C_1: x^2+y^2=r^2$, $C_2: x^2+y^2-8x-6y+16=0$ が外接しているとき、 C_1 の半径 r の値を求めよ。

(8) $\log_{10}2=a$, $\log_{10}3=b$ とするとき、 $\log_{10}360$ を a, b で表せ。

(9) 関数 $f(x)=x^2+2x$ において、 x が 3 から $3+h$ まで変化するときの平均変化率が 10 であるとき、0でない実数の定数 h の値を求めよ。

(10) 関数 $F(x)$ の導関数が、 $3x^2-4x+3$ で、 $F(1)=3$ のとき、 $F(x)$ を求めよ。

2 x の2次方程式 $x^2 - 4x + 1 = 0$ がある。この方程式の2つの解を α, β ($\alpha > \beta$) とする。
このとき、次の問いに答えよ。

(1) α, β を求めよ。

(2) $\alpha^2 + \beta^2$ および $\sqrt{\alpha} + \sqrt{\beta}$ の値を求めよ。

(3) $p = \frac{1}{\sqrt{\alpha}} + \sqrt{\beta}$, $q = \frac{1}{\sqrt{\beta}} + \sqrt{\alpha}$ とする。 p, q を解に持つ2次方程式は、 $x^2 - kx + l = 0$

という形で表せる。このとき、実数の定数 k, l の値を求めよ。

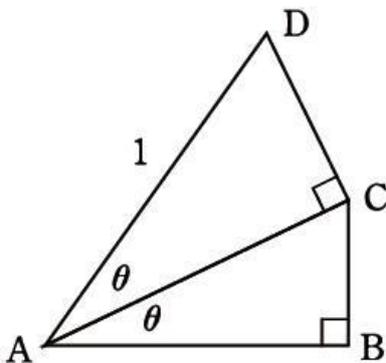
3 $AD = 1$, $\angle ACD = \angle ABC = 90^\circ$, $\angle DAC = \angle CAB = \theta$ である四角形 ABCD を考える。

このとき、次の問いに答えよ。ただし、 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする。

(1) $\theta = \frac{\pi}{6}$ のとき、AC および AB の長さを求めよ。

(2) $t = AC + CD$ とするとき、 t の取り得る値の範囲を求めよ。また、 $AC + BC + CD$ を t で表せ。

(3) $\theta = \frac{\pi}{12}$ のとき、 $AC + BC + CD$ の値を求めよ。



4 連立不等式 $x + 3y - 15 \leq 0$, $2x + y - 10 \leq 0$, $y \geq 0$, $x \geq 0$ で表される領域を D とする。
点 (x, y) が領域 D 内を動くとき、次の問いに答えよ。

- (1) 領域 D の面積を求めよ。
- (2) $x + y$ のとる値の最大値を求めよ。
- (3) a を実数の定数とする。 $ax + y$ の最大値が 12 となるような a の値を求めよ。

5 実数 s, t について成り立つ次の方程式 (*) を考える。

$$2\log_4(t - 2) - \log_2(s - 1) = 1 \dots (*)$$

このとき次の問いに答えよ。

- (1) s, t の取り得る値の範囲をそれぞれ求めよ。また、 $s = 4$ のとき、 t の値を求めよ。
- (2) (*) を満たす s, t を x 座標および y 座標とする点 $P(s, t)$ が、中心 $(1, 2)$ 半径 $2\sqrt{5}$ の円周上にあるとき、 s, t の値を求めよ。
- (3) (*) を満たす s, t が、更に $2^{t+1} - 2^{s+2} - 16 = 0$ を満たすとき、 s, t の値を求めよ。

6 放物線 $C: y = -x^2 + 8$ がある。また、 C 上に点 P, Q があり、 P の x 座標は -3 、 Q の x 座標は 1 である。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 点 P, Q を結ぶ直線と平行で、 C に接する直線の方程式を求めよ。
- (2) 点 P, Q を結ぶ直線と、放物線 C で囲まれた図形の面積を求めよ。
- (3) 放物線 C 上に点 R を取り、三角形 PQR を作る。ただし R の x 座標は -3 より大きく、 1 より小さいとする。このとき、三角形 PQR の面積の最大値を求めよ。